



## おかむら通信 第64号

平成22年8月4日

皆様、もう真夏ですね、体調を崩していませんか？ 夜も寝苦しく精神面も体力も消耗する今日このごろですが、どうぞお体にお気をつけください。さて、熱中症の重症例が最近、目立ちます。当院でも救命した方がいらっしゃいます。傾眠傾向・朦朧となる意識・けいれん発作・40度近い高熱・引いては脱水状態が合併しては命が危なくなります。

### 今月の大きな出来事 AとB

いよいよ、皆様が登録されている松戸市医療情報ネットワークシステムが県内へ広がる気配を示し始めました。

A：EMI ネットシステムは、すでに7月に千葉大の実証実験中のシステムを使って皆様のパソコンで実際にインターネットを介して作業ができるようになりました。これができると、無制限に県内へ広げることができます。今のEMI ネットはIP網の性格上約80施設（医療機関・薬局・訪問看護ステーションなど）までなのです。

B：「千葉県医療機関IT検討会議」の第1回目が千葉大学で開かれました。主たるメンバーは以下の様です。

亀田総合病院院長 亀田氏ほか数人

東金病院院長 平井氏

旭中央病院 院長代理ほか数人

松戸市医師会理事 兼 県医療情報システム委員会副委員長 岡村廣志

日本医師会 石川常任理事

日医総研 矢野主任研究員

県医師会 原 理事

田畑 理事

千葉大学 高林 教授

千葉県健康福祉課 井上 理事ほか数名

千葉県の医療崩壊を食い止めるには、県内の堅固な地域医療連携が必要です。それには、連携バスが必要になります。それだけでは、なかなか動かないでしょう。それには、医療機関のITネットワークが必要です。情報共有化システムです。

県下の医療情報ITネットワーク構築に積極的に取り組んでいる医療機関の先生方が、一緒にアイデアを出し合い、よりよい医療を構築すべく「医療機関ITネット」を整備してゆこうとするものです。





## 院長の仕事コーナー 7月

- 05/昼 県庁健康福祉部参事・政策課長 永井氏、政策室副主幹 門田氏 来院  
「千葉県医療機関IT検討会議」のメンバーとして受諾依頼。 当院にて
- 06/夜 松戸市夜間小児救急センター当直 市立病院にて
- 08/夜 異業種の方と懇談 国際奉仕などについて 市内にて
- 15/昼 千葉大学「新EMI ネットシステム」と当院のパソコンとをインターネットでつなぐことに成功 画像・患者情報 2号用紙でのやりとり 紹介状の返信 ただし実証実験において
- 16/夜 IT専門家(NTTMC S)と懇談 千葉県の医療のIT化について 当院にて
- 17/午後 千葉大学高林教授と懇談 大学の新EMI ネットシステムと松戸のEMI ネットについて 八柱 三和クリニックにて
- 17/夜 松村真司氏(日本医師会生涯教育担当・松村クリニック院長・総合診療医)と 松戸市医師会有志で 懇談、日本の医療、開業医の生活、勉強、意識、世界観について 和座クリニックにて 和座先生(松戸市医師会副会長・東京医科歯科大学臨床教授)両先生とも若手の先生です。
- 20/夜 松戸市医師会 理事会 医師会を公益法人にするかどうか、都内にて
- 21/昼 当院院長室に新しいコンピューター(Windows 7)設置。
- 22/夜 IT専門家たちに「千葉県医療機関IT検討会議」(28日に開催)における私のプレゼンテーションについて意見を求めた。 当院にて
- 23/夜 千葉県共用地域連携パス「がん」の説明会 参加 千葉県がんセンター、市立病院呼吸器外科及び消化器外科、柏慈恵医大がん専門医など参集 市立病院看護師会館にて
- 24/午後 千葉大学高林教授と再び懇談 松戸市及び県の医療に将来大きな影響力をもつ会議を成功させるために 八柱 三和クリニックにて
- 26/昼 会計事務所と 今後の医療経営について
- 28/夜 千葉県医療機関IT検討会議 前頁参照ください、 千葉大学病院 第2講堂にて 初回としては素晴らしい会合でした。
- 29/夕 IT専門家と懇談 今後のIT化戦略・何をすべきかなどについて  
岡村胃腸科外科のホームページアドレス [www.okamuraclinic.com](http://www.okamuraclinic.com)

<今月は、皆様の医療相談、当院の課題点など取りいれられなくてごめんなさい>

<また、新しい看護師さん、中村さん、青木さんが入職されました。一生懸命頑張っています。みなさま、よろしくお願ひいたします。>



暑い日が続いています  
皆様 熱中症には、気をつけて下さい。

—石島—

